

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター

令和4年度成果発表会 および JRA畜産振興事業にかかるBLV研修会の開催のご案内

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター（FAMS）は、「健康な家畜の生産から加工・流通を経て食卓に至るまで」いわゆるFarm to Tableで食の安全・安心を科学し、その成果を地域と世界に発信する拠点として平成18年に設置され、研究、教育、地域貢献に取り組んでおります。

With コロナの生活様式が続く中、FAMSが取り組んでいる種々の研修会等の開催も影響を受けておりますが、教育面における社会人教育では、安全な食品確保の第一歩である生産現場の農場に焦点をあて、「農場マネジメントと飼養衛生管理」と題した全体研修会を開催しました。

一方、研究面ではJRA畜産振興事業「地域BLV検査センターと感染子牛センターを組み合わせた総合型牛伝染性リンパ腫清浄化モデル開発事業」が新たに採択され研究が開始されております。

このたび、今年一年間の研究成果を社会に発信するとともに、関係機関との連携を深める機会とすることを目的に、添付のとおり成果発表会を開催することとなりました。年度末で多用のこととは存じますが、多くの皆様にご参加いただき、ご意見・ご助言等賜りますとともに、FAMSに対する理解を深めていただければ幸甚に存じます。

令和5年1月

岩手大学農学部附属

動物医学食品安全教育研究センター

センター長 寺嶋 淳

